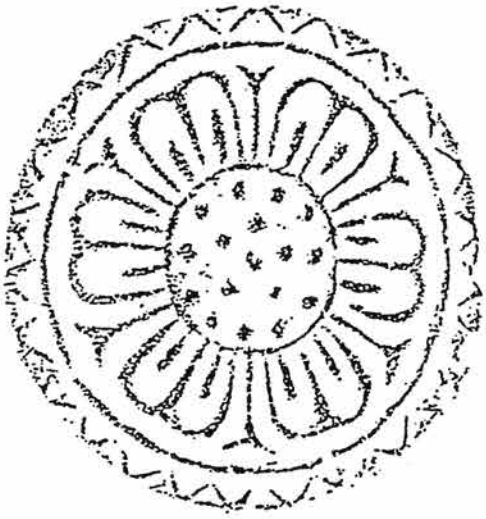
和歌山県埋蔵文化財調査概報



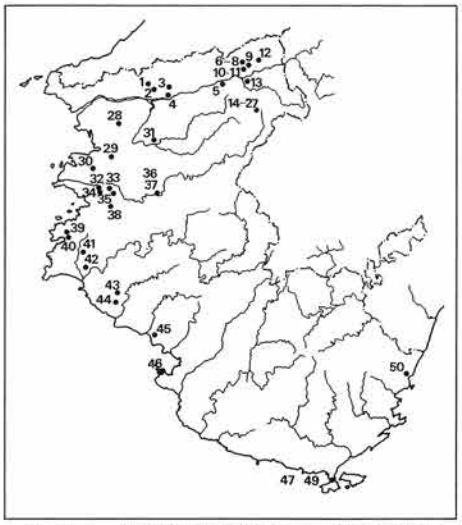
平成２年度

和歌山県教育委員会

カットは名古曽廃寺跡出土軒丸瓦拓本

はじめに

本書は平成２年度事業として文化庁の補助を得て実施した県内遺跡発掘調査事業の概要報告書である。本事業は、文化財保護法第57条２及び同第57条３に基づいて提出された発掘届及び通知に基づく遺跡の確認調査事業等で、宅地開発事業に伴う名古曽廃寺跡の発掘調査など38遺跡50件の確認調査を実施した。なお、本調査は埋蔵文化財専門職員が配置されている市町以外で調査を実施したものであり、この他、和歌山市６件、海南市３件、橋本市７件、御坊市２件、田辺市２件、岩出町13件がそれぞれの教育委員会で実施されており、県下での総計は84件を数える。



第１図　調査遺跡位置図（一覧表対照）

次に主要な調査となった名古曽廃寺跡と山東22号古墳の概要を示すこととする。

１　名古曽廃寺跡

伊都郡高野口町名古曽451-1番ほかに所在する奈良時代前期に建立された白鳳寺院であり、宅地開発及び分譲住宅建設の届出がなされたため幅３ｍのトレンチを延124ｍにわたって設定した結果、499-1番地では顕著な遺構は検出されなかったが451-1番地では次の遺構・遺物が確認された。

金堂跡　瓦積基壇東辺が確認できた。長さ30cm前後の扁平な河原石を地覆とし、その上部に、半截平瓦を側辺をみせて丁寧に積み上げている。最も残りの良好な部分は平瓦８枚約35cmと地覆石とで約45cmが残存している。平瓦は長さ50cm弱（１尺６寸）前後のもので、重弧文軒平瓦も用いられている。基壇の南北隅は確認されなかったが、南部は基壇崩れに軒丸瓦を４点立てて補修したようである。基壇上部は削平のためか礎石の位置を示す遺構はみられない。基壇は地山上に厚さ５～10cmの地山削土等を交互に積み上げ版築し、基壇縁より内側へ60cm切り取った後、地覆石・瓦積みで基壇縁の化粧としている。町教育委員会による調査成果を加え、金堂基壇の平面規模は東西約15.0ｍを計測、南北幅は約12ｍ強と推定される。

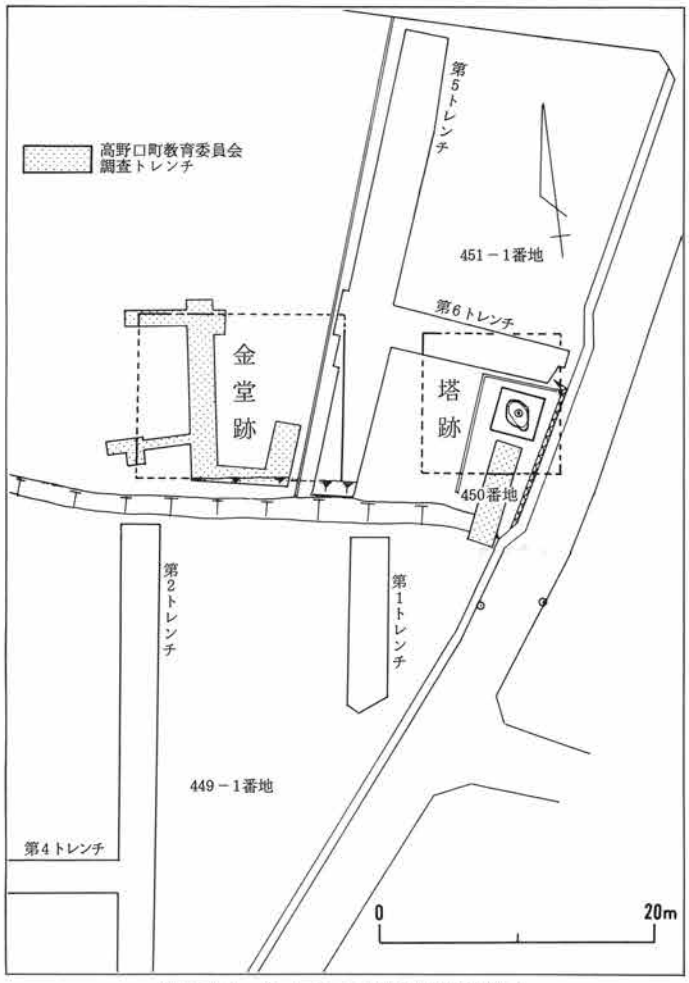
塔跡　金堂基壇の東に5.6ｍの間隔をもち塔基壇を配置している。金堂同様基壇上部は削平、攪乱が著しく、礎石痕跡は確認できなかったが、北東隅部の基壇縁は金堂と同じである。基壇の版築は基壇化粧瓦積より約40cm深くまで認められた。町教育委員会の調査で確認された基壇南面地覆石から基壇の一辺は約9.9ｍである。この調査の結果、通称「護摩石さん」と呼ばれ祀られてい

る心礎は東へ約２ｍ移動させられていることが判明した。

出土遺物　六葉複弁の川原寺式２種と元薬師寺式の計３種の軒丸瓦と三重弧文軒平瓦・元薬師寺式の扁行唐草文軒平瓦及び鴟尾片の道具瓦や行基葺丸瓦、長さ約48cmの平瓦が多数出土した。このほか、土壁片、釘、須恵器と平安初期とみられる土師器片が焼土とともに出土した。

まとめ　名古曽廃寺跡は伊都郡かつらぎ町佐野所在の佐野廃寺跡に次いで法起寺式伽藍配置であることが明確となり、伊都郡内の白鳳寺院は軒瓦類の共通性に加えて伽藍配置も共通性をもっていたことが推定できた。

遺跡の重要性に鑑み、金堂跡塔跡は高野口町で公有化され、史跡公園として整備される。



第２図　名古曽廃寺跡調査状況図

2　山東22号古墳

和歌山市の東郊、岩橋山塊南斜面の派生尾根端部（標高約30ｍ）の和歌山市吉礼中1392番ほかに位置する。同山塊の稜線部と北斜面は特別史跡岩橋千塚古墳群として国指定を受け、昭和46年以降は紀伊風土記の丘公園として県民に親しまれている。

当該地点が県道和歌山橋本線道路改良予定地となったため、前方後円墳の可能性すら考えられる地点に３本のトレンチを設定した結果、結晶片岩を小口積にした西側に開口する横穴式石室が検出された。石棚をもつ玄室中心より西、南側12ｍ地点で地山整形の上端が、さらに南側トレンチでは同じく15ｍ地点で地山整形の下端が確認され、直径30ｍ、高さ2.2ｍ以上の円丘部をもつ古墳であることが判明した。石室より北側は道路建設が及ばないので前方後円墳がどうかは不明である。なお、本調査を実施した石室等の保存を図る必要性がある。

平成２年度 埋蔵文化財確認調査一覧表

番号	遺跡名	調査地	開発工為	備考
1	根来寺坊院跡	那賀郡岩出町根来1137	住宅建設	試掘調査後慎重工事
2	岡田Ⅱ遺跡	那賀郡打田町西井阪270	〃	〃
3	粟島遺跡	〃 〃 東大井82－29	〃	〃
4	堂坂遺跡	〃 打田町竹房180－1	〃	〃
5	渋田遺跡	伊都郡かつらぎ町東渋田165－4	分譲住宅地造成	〃
6	名古曽廃寺跡	〃 高野口町名古曽449－1	〃	〃
7	〃	〃 〃 〃 451－1	分譲住宅建設	試掘調査後一部を高野口町公有化
8	〃	〃 〃 〃 169－1	〃	試掘調査後慎重工事
9	名古曽Ⅰ遺跡	〃 〃 〃 550－3	住宅建設	〃
10	高尾遺跡	〃 〃 〃 745－90	〃	試掘調査後、町教委発掘調査。その後慎重工事
11	〃	〃 〃 〃 767－2	分譲住宅建設	試掘調査後慎重工事
12	陵山古墳	橋本市古佐田4－10－1	学校施設建設	〃
13	真田屋敷跡	伊都郡九度山町九度山1413	真田庵土塀改修	〃
14	金剛峯寺遺跡	〃 高野町高野山262地先	上水道埋設	発掘調査後慎重工事
15	〃	〃 〃 〃 359	寺院施設（道場）建設	試掘調査後慎重工事
16	〃	〃 〃 〃 84	住宅建設	〃
17	〃	〃 〃 〃 223	寺院施設（道場）建設	〃
18	〃	〃 〃 〃 593	宿泊施設建設	〃
19	〃	〃 〃 〃 809	住宅建設	〃
20	〃	〃 〃 〃 444－1	〃	〃
21	〃	〃 〃 〃 299他	防災水槽建設	試掘調査後、（財）高野山文化財保存会発掘調査
22	〃	〃 〃 〃 733－2他	国道371号線改良工事	試掘調査後慎重工事
23	〃	〃 〃 〃 241他	〃	〃
24	〃	〃 〃 〃 733－2他	河川改修	〃
25	〃	〃 〃 〃 306	霊宝館事務所建設	〃
26	〃	〃 〃 〃 225	住宅建設	〃
27	〃	〃 〃 〃 53	宣言塔建設	〃
28	山東22号古墳	和歌山市吉礼中1392他	県道改良工事	試掘調査で検出、平成3年度発掘調査予定
29	大野城跡他	海草郡下津町仁義他	ゴルフ場造成	飯盛山城など踏査
30	長保寺坊跡	〃 〃 上686他	公園整備	試掘調査後慎重工事
31	下佐々Ⅲ遺跡	〃 野上町下佐々971	住宅建設	〃
32	野田地区遺跡	有田郡吉備町野田527－9他	店舗建設	〃
33	田殿尾中遺跡	〃 〃 角225－2	集合住宅建設	〃
34	藤並地区遺跡	〃 〃 天満722－2他	町道改良工事	〃
35	鷹巣池遺跡	〃 〃 徳田1229－1他	住宅建設	〃
36	粟生遺跡	〃 清水町粟生227他	〃	〃
37	〃	〃 〃 〃 224－2	〃	〃
38	山田地区遺跡	〃 湯浅町山田他	ゴルフ場造成	湯浅城関連遺跡踏査
39	吹井城跡他	日高郡由良町吹井他	〃	由良防備隊関連遺跡他踏査
40	里Ⅱ遺跡	〃 〃 里171－1他	分譲住宅地造成	試掘調査後慎重工事
41	萩原Ⅱ遺跡	〃 日高野萩原664－1	工場建設	〃
42	小松原Ⅱ遺跡	御坊市湯川町小松原43－1	学校施設整備	〃
43	印南原城跡	日高郡印南町印南原地区	ゴルフ場造成	印南原城跡ほか踏査
44	赤松山城跡他	〃 〃 〃	〃	赤松山城ほか踏査
45	南部高校校庭遺跡	〃 南部町芝407	学校施設整備	試掘調査後慎重工事
46	瀬戸田尻浜遺跡	西牟婁郡白浜町田尻口330－1他	宅地造成	〃
47	笠嶋遺跡	〃 串本町串本1620	学校施設建設	試掘調査、財和歌山県文化財センターで発掘調査
48	〃	〃 〃 〃 1552	〃	試掘調査後慎重工事
49	〃	〃 〃 〃 1519－2	国合同庁舎建設	〃
50	佐野遺跡	新宮市佐野1005	学校施設整備	〃

図版1　名古曽廃寺金堂跡

塔基壇（右）と金堂基壇（北より）

金堂基壇東面

図版2　名古曽廃寺金堂跡

瓦積基壇細部

同上　補修に用いられた軒丸瓦

図版3　名古曽廃寺塔跡

基壇全景（北より）

瓦積基壇北東隅細部

編集・発行者
　和歌山県教育委員会
発行日
　平成３年３月31日
印刷者
　キヨー印刷